

=== MTS 特別セミナー(9月2日(金))のご案内 ===

**「東日本大震災で、海上自衛隊、海上保安庁、JAMSTEC は
海洋を舞台に、いかに活躍したか！」**

MTS の本拠地アメリカでは、NOAA、産業界、研究機関、大学等はもちろん、Navy、Coast Guard から多数がMTSに加わって活動をしています。そこで、日本支部では、こうした MTS ならではのカタチで、海上自衛隊、海上保安庁そして JAMSTEC 関係者の好意あるご協力を得て、標記の特別セミナーを開催することにいたしました。

東日本大震災は言うまでもなく、地震被害以上に、1000 年に一度といわれる巨大津波による被害が圧倒的に多く、したがって沿岸の港湾・漁港・海岸はもちろん、地先水域や沖合の漁場や船舶の航路なども大きな打撃を受けました。未だに海底のガレキの全体像は把握できず、撤去作業も遅々として進んでいない状況です。さらに、表層や中層の漂流物の問題も見逃せません。

こうしたなかで、陸上に対する海洋からの支援活動をはじめ、各種の海洋調査観測活動等に、海上自衛隊ならびに海上保安庁が、そして(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)が大いなる活躍をみせてくれました。

しかしながら、JAMSTEC、海上保安庁、海上自衛隊、の船舶等はどのような活動をして貢献してきたのか、時系列的かつ海域別にどのような活動を展開してきたのか、これらを全体として鳥瞰図的に理解をすることは必ずしも容易ではありません。

そこで、今回、下記のようなプログラムによる特別セミナーを開催することにしました。MTS の会員及び海洋問題にご関心をお持ちの方々の、多数のご参加をお願いいたします。

主催：Marine Technology Society 日本支部 (協力:社団法人海洋産業研究会)

日時：2011年 9月 2日(金) 15:00 ~ 17:30 (終了後、懇親会を予定)

場所：独立行政法人海洋研究開発機構 東京事務所 セミナー室 (富国生命ビル 23 階)

東京都千代田区内幸町 2-2-2、JR・地下鉄「新橋」駅徒歩 5 分、都営三田線「内幸町」下車 1 分、内幸町交差点。Tel: 03-5157-3900。 (<http://www.jamstec.go.jp/j/about/access/tokyo.html>)

参加費：MTS 会員 お一人様 3,000 円、非会員 5,000 円 (収益は水中ロボコン協賛金等に活用予定です)

定員：約 50 ~ 60 名 (会場の制約上、定員になり次第締め切ります)

(プログラム) (変更の場合もあることを、あらかじめお断りしておきます)

開会挨拶 (15:00) MTS 日本支部長 酒匂 敏次

「JAMSTEC の緊急的調査活動及び海域における放射能濃度シミュレーションについて」

(15:10 ~ 15:55) (独)海洋研究開発機構経営企画室次長 菊池 聡 氏

「海上保安庁の活動について」

(15:55 ~ 16:40) 海上保安庁総務部政務課政策評価広報室海上保安報道官 一條 正浩 氏

「海上自衛隊の活動について」

(16:40 ~ 17:25) 前海上自衛隊掃海隊群司令(海将補)、ユニバーサル造船株顧問 松本 幸一郎氏

閉会挨拶 (17:30) MTS 日本支部副支部長 宮崎 武晃

参加申込: 来る 8 月 31 日(水)までに、ご所属・氏名を、下記アドレスあて e-mail にてご連絡ください。

< 本件に関するお問い合わせ / 参加申し込み先 >

MTS 日本支部 mts@ab.inbox.ne.jp

(c/o (社)海洋産業研究会 TEL 03-3581-8777, FAX 03-3581-8787)